水戸二中周辺史跡クイズ

組　　班

◎ 班のメンバーで協力して，水戸二中周辺の史跡に関するクイズを解き，キーワードを集めましょう。

◎ チェックポイント★では，クイズに答えた後，担当の先生にスタンプかサインをもらいましょう。

◎ １～１２のキーワードはカタカナで記入しましょう。問題文中の〇は文字の数です。〇が２個並んでいれば，キーワードは２文字となります。

例）　水戸二中　→

ミ	ト	ニ	チ	ユ	ウ

≪問題≫

1　弘道館の鹿島神社には，水戸藩第９代藩主徳川斉昭によって３株の梅が植えられた。社前に向かって右が酒梅という白梅１株，左は緋の司という紅梅１株と〇〇〇〇という白梅１株が植えられた。〇〇〇〇は鹿島神社のご神木でもある。

2　弘道館の正式名称は，〇〇〇〇〇〇　旧弘道館である。

3　徳川頼房は，徳川〇〇〇〇の十一番目の男子として生まれた。

4　水戸藩は，水戸に屋敷はあったが，城郭はなかった。のちに，三階の〇〇〇を建てたが火事で焼失。その後，鯱をのせた三階櫓を建てた。

5　水戸一高には，旧水戸城の現存する唯一の門〇〇〇〇〇（5－1）がある。この門は，その風格から橋詰御門，つまり〇〇〇〇〇（5－2）の表門と考えられる。

6　水戸二中のグラウンドわきにある巨木は，シイの木（スダジイ）である。この木は，〇〇〇〇時代から自生している木で，推定樹齢は400年である。

7　水戸二中と水戸三高テニスコートの間にある通称二中坂は，江戸時代に徳川〇〇〇〇（7－1）が水戸城大改修の時に整備させた坂で，〇〇〇〇〇〇（7－2）と呼ばれていた。

8　弘道館と水戸城址は，〇〇〇〇〇〇〇〇〇の１つである。

9　徳川〇〇〇〇は徳川斉昭の第七子として江戸の水戸藩邸で生まれた。その翌年から11歳まで斉昭のもとで厳しい教育を受けた。

10　安積澹泊は，水戸黄門漫遊記に登場する格さんのモデルとなった人物である。澹泊は，「〇〇〇〇〇」の編纂にもかかわり，水戸史学を代表する学者である。

11　水戸藩第二代藩主徳川〇〇〇〇によって大日本史の編纂は始められた。編纂は，当初江戸小石川にあった藩邸で行われていたが，後に水戸に移された。水戸での編纂作業は，彰考館で行われた。彰考とは『歴史をはっきりとさせて，そこから人の歩む道を考える』という意味である。

12　水戸二中の周辺には２本の橋があります。弘道館側に橋を〇〇〇〇〇（12-1），水戸一高側の橋を〇〇〇〇〇〇〇（12-2）といい，どちらも水戸城の空掘の上にかけられています。

13　水戸は，昭和20年8月に空襲を受うけた。翌21年，終戦直後の戦災状況を視察するため昭和天皇が行幸された。水戸の復興ぶりを歌に詠み，昭和22年の新年御歌会で披露された。その歌をはじめの句に続けて，全文書き写しなさい。

キーワード

1★	ス							
2			ベ				キ	
3	イ							
4★		ノ						
5-1			イ					
5-2	ホ			ル				
6		ン						
7-1			フ					
7-2		ギ			ザ			
8	イ					ヤ	ツ		
9				ブ				
10	ダ		ニ					
11				ニ				
12-1	オ							
12-2		ン		ヨ				
13	たのもしく 13-A よ							
	水 戸 の 町							
	う			の			き	

⇩ 太囲みの文字を当てはめて答えを完成させましょう。

4	2	13-A								
	サ	10	12-2	ユ	1	6	5-2	10	6	5-1
		12-2	7-1	1	7-2	5-2	チ			

チェックポイント	
1	4